

国際学会からレジャー・ダイビング用メディカルガイドラインが公表されました

最近、レジャー・ダイビングに関するメディカルガイドラインが 2 つの国際学会より相次いで公表されました。

- **Recreational Diving Medical Screening System**

Undersea and Hyperbaric Medical Society (UHMS)

<https://www.uhms.org/resources/recreational-diving-medical-screening-system.html>

- **Guidelines on Medical Risk Assessment for Recreational Diving 5th edition**

South Pacific Underwater Medicine Society (SPUMS)

<https://www.spums.org.au/content/spums-full-medical-0>

UHMS から公表されたものは、Diver Medical Screen Committee を中心として、UHMS、DAN アメリカ、DAN ヨーロッパ、University of San Diego School of Medicine, Hyperbaric Medicine の協力で作成されたもので、Recreational Scuba Training Council (RSTC) のメディカルガイドライン <https://wrstc.com/standards-downloads/> のアップデート版に相当します。

RSTC ガイドラインと同様に、質問票と医師用ガイダンスから構成されますが、質問票は日本語を含む 26 ヶ国語に既に翻訳されており、日本の潜水指導団体でもインストラクターへの周知が開始されているようです。今後、潜水適性の判断を求めて、この質問票を携えて医療機関を受診する潜水希望者が増えることが予想されるため、情報共有です。

2020 年 8 月 31 日

日本高気圧環境・潜水医学会 国際情報委員会